


2013年6月13日

こそだて家族研究所 

調査レポート VOL.3「こそだて家族とパパ」編

ママがフルタイムで働いていると、パパのイクメン度もアップ

- 平日のパパの「家事」時間は全体平均 28 分、フルタイムママの家庭では 1.5 倍の 44 分
- パパの行う家事・育児項目、1 位「ゴミ出し」、2 位「子どもの世話」、3 位「子どもの教育」

2012 年 10 月に設立された「博報堂こそだて家族研究所」は、子どもをもつ家族の消費やライフスタイルについて研究していますが、このたび、母親から見た「パパの家事・育児参加度やパパに対する評価」についてまとめたレポート「こそだて家族とパパ」編を作成いたしました。

今回のレポートは 2012 年 9～10 月に実施した調査をまとめたもので、ママ達から見たパパの家事や育児への関与度や、実態、評価をまとめたものです。

その結果、「休日」だけでなく、「平日」も「家事」や「育児」の時間をとり、積極的に取り組むパパ達の姿が浮き彫りになり、昨今のイクメンブームを裏付ける結果となりました。特に、ママがフルタイムで働いているパパたちは、平日で1日に約2時間は「家事」「育児」に時間をかけており、パート・アルバイトママや専業主婦ママを持つパパ達よりも、30分以上も長く関与していることが分かりました。

また、ママたちは、これら夫たちを、「パパ」として評価しているものの、「料理を作る時に好みを重視する」という項目などで「夫」よりも「子ども」を重視するという結果がでるなど、夫よりも子どもを優先する傾向にありました。

「こそだて家族研究所」では、今後も、こそだて家族について様々な側面から研究を重ね、企業のマーケティングや社会に対してさまざまな提案をしてまいります。

◆調査手法：インターネット調査

◆対象者：20-40代 0-9歳の子供をもつ既婚女性 n=1223名（年齢・職業・長子年齢で割付 ウェイトバック集計にて分析）

◆調査エリア：全国

◆調査時期：2012年9月23日-28日、10月12日-15日

<調査結果ポイント>

■ママがフルタイムで働くパパは、他のパパよりも、「家事」「育児」に関わる時間が長い

平日のパパの「家事」時間は全体平均 28 分、フルタイムママの家庭では 1.5 倍の 44 分。

平日のパパの「育児・教育」時間は全体平均 64 分、フルタイムママの家庭は全体平均より11分長い

■パパの行う家事・育児項目、1 位「ゴミ出し」、2 位「子どもの世話」、3 位「子どもの教育」

フルタイムママを妻に持つパパは、全項目でその他のパパより高い結果に

■キレイであることをほめられると嬉しい相手、40代ママは「夫」よりも「ママ友」

■家族の食卓、「パパ」よりも、「子ども」の好みに合わせて料理

■働くママは配偶者を「夫」としてよりも「パパ」として評価

専業主婦ママは配偶者を「パパ」としてよりも「夫」として評価

■ママがフルタイムで働くパパは、他のパパよりも、「家事」「育児」に関わる時間が長い

平日のパパの「家事」時間は全体平均 28 分、フルタイムママの家庭では 1.5 倍の 44 分

平日のパパの「育児・教育」時間は全体平均 64 分、フルタイムママの家庭は全体平均より 11 分長い

ママに聞いたパパの「家事」時間は、平日全体平均 28 分、休日全体平均 58 分。パパの「育児・教育」時間は、平日全体平均 64 分、休日全体平均約 4 時間。

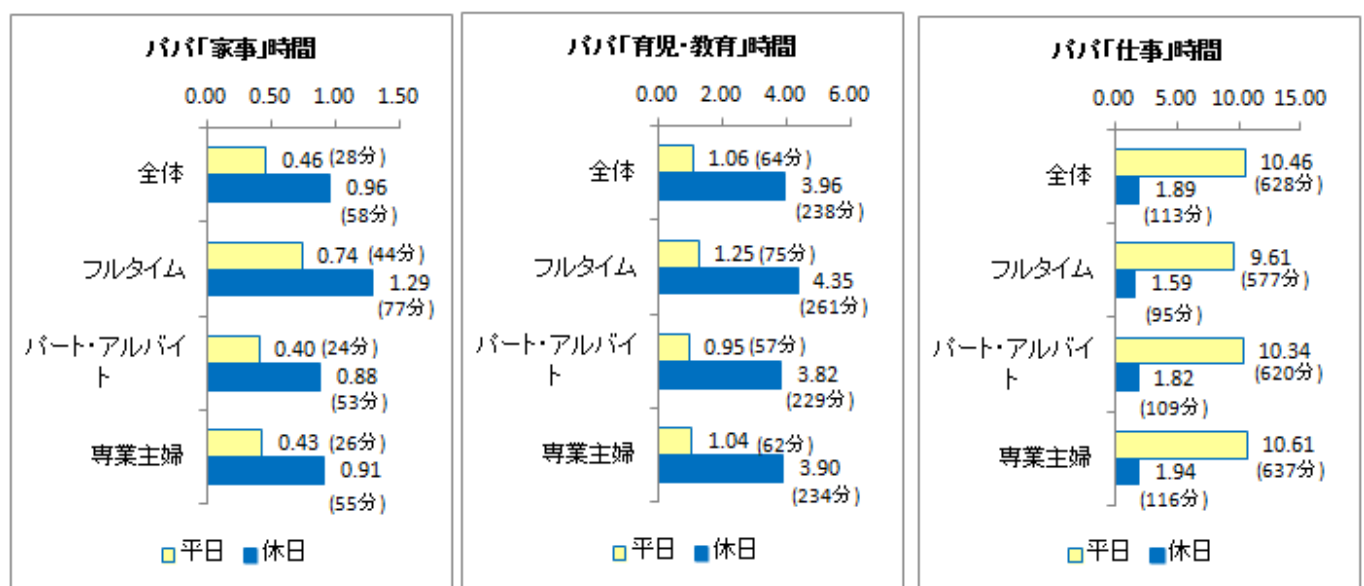
ママが「家事」にかけている時間(平日全体平均 4 時間 24 分、休日全体平均 4 時間 17 分)や、「育児・教育」にかけている時間(平日全体平均 6 時間 49 分、休日全体平均 7 時間 53 分)と比べるとまだまだ短いものの、パパ達も「仕事」時間は平日全体平均 10 時間以上と忙しい中、平日でも家事(28 分)、育児・教育(64 分)など、1 時間半以上を家庭や子どものための時間を持ち、休日には約 5 時間(家事:58 分、育児・教育:約 4 時間)の時間を家族のために費やしていることがわかります。

ママの就労状況別のパパの「家事」時間は、フルタイムのママを妻に持つパパが平日 44 分、休日 1 時間 17 分。パート・アルバイトママと、専業主婦ママを妻に持つパパの「家事」時間は平日 25 分前後、休日 54 分前後とほとんど差がつかないのに対し、フルタイムのママを妻に持つパパは平日でも他のパパよりも約 20 分程度長く家事に時間をかけ、さらに休日は 3 つのグループの中で唯一 1 時間を超える結果となりました。

また、「育児・教育」にかかる時間は、フルタイムのママを妻に持つパパが平日 1 時間 15 分、休日 4 時間 21 分で、全体平均よりも、平日で 11 分、休日で 23 分長い結果となりました。また、フルタイムママを妻に持つパパは、「仕事」時間も 9 時間 37 分と全体平均よりも 51 分短く、10 時間を切りました。

同じ働くママを妻に持つパパでも、パート・アルバイトママを妻に持つパパは、専業主婦ママを妻に持つパパと似たような時間の使い方をしてしているのに対し、フルタイムママを妻に持つパパは、仕事を早めに切り上げ、家事にも育児・教育にも他のパパより時間をかけていることが分かります。

Q:あなたの夫の「家事」「育児・教育」「仕事」に費やす時間はどのくらいですか？(n=1223)



■ **パパの行う家事・育児項目、1位「ゴミ出し」、2位「子どもの世話」、3位「子どもの教育」**
フルタイムママを妻に持つパパは、全項目でその他のパパより高い結果に

パパ達が日常的に行っている家事の中身を見ると、最も多くのパパが行っているのは「ゴミ出し」で 54.6%。「ゴミ出し」については家庭内において男の家事としてすっかり定着しているようです。次いで「子どもの身の回りの世話」が 41.9%、「子どもの教育」が 33.0%という結果になり、日常的に子どもとの関わりを持つ、今時のパパ達の様子がうかがえます。

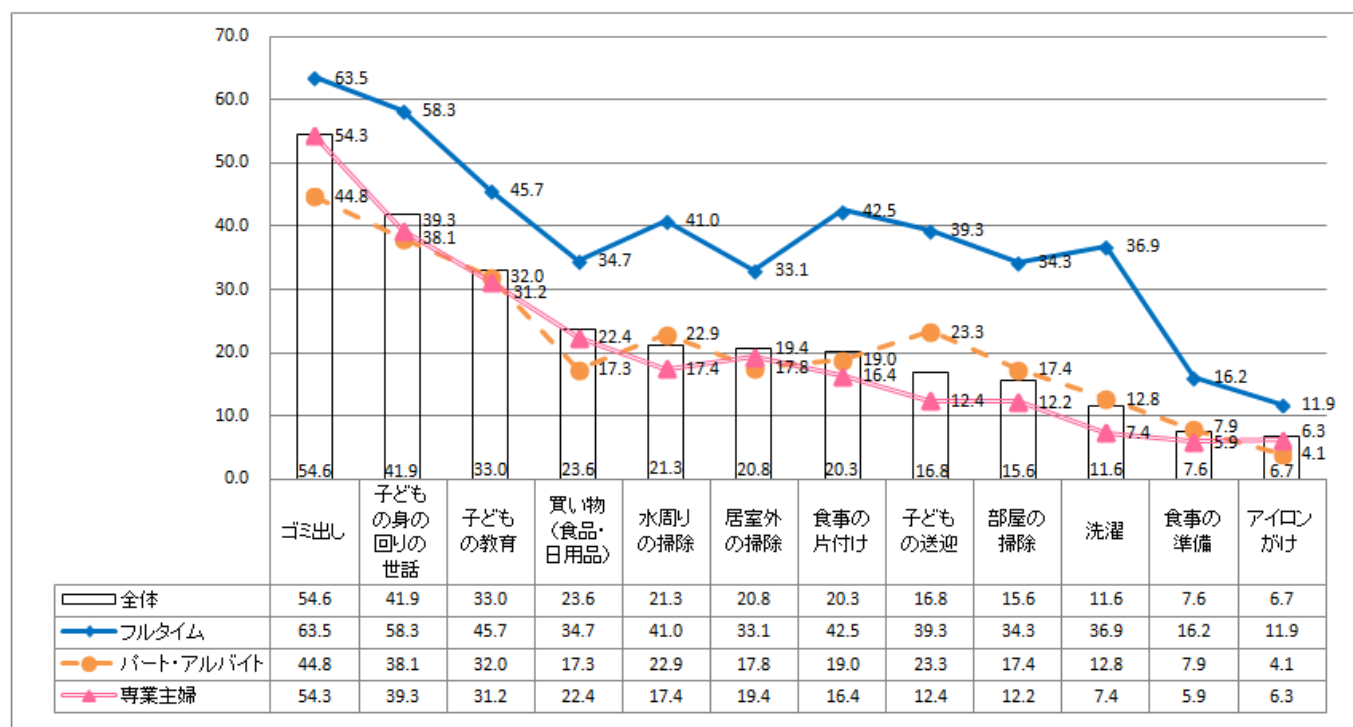
ママの就労状況別にパパの家事項目を見てみると、全項目でフルタイムママを妻に持つパパが高い結果となりました。特に、フルタイムママを妻に持つパパがその他のパパと比べて大きく差がついたのは、「洗濯」(24 ポイント以上の差)、「食事の片づけ」(23 ポイント以上の差)、「子どもの身の回りの世話」(19 ポイント以上の差)となりました。

フルタイムママの家庭では、4割以上のパパが「ゴミ出し」「子どもの世話」「子どもの教育」「水周りの掃除」「食事の片付け」を行っていました。フルタイムママの家庭では、日常的に必要な家事を夫婦で分担して行っているようです。

パート・アルバイトママを妻に持つパパと、専業主婦ママを妻に持つパパでは大きな差はつかず、似たような傾向となりました。唯一、パート・アルバイトママを妻に持つパパと、専業主婦ママを妻に持つパパの間で 10 ポイント以上の差がついた項目は「子どもの送迎」でした。

「子どもの送迎」は、フルタイムママを妻に持つパパの 39.3%、パート・アルバイトママを妻に持つパパの 23.3%、専業主婦ママを妻に持つパパの 12.4%が行っています。働くママを妻に持つパパの 2 割以上が子どもの送迎をしているという結果は、保育園や学童保育の送迎シーンでパパを見かける事も珍しくなってきた現代の風潮を表す結果となりました。

*あなたのご家庭で、普段以下の家事・育児を行っている人全てをお選びくださいという問いに「夫」を選んだ人

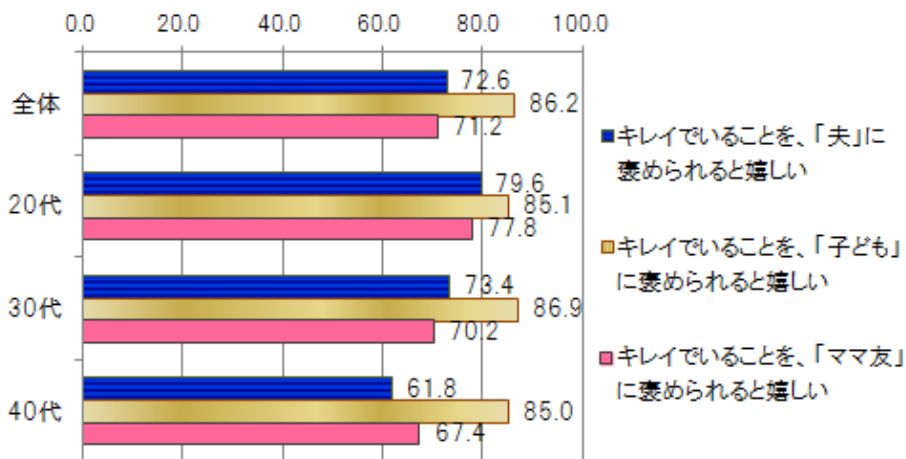


■キレイでいることをほめられると嬉しい相手、1番は「子ども」。「夫」は2番。40代ママは「夫」よりも「ママ友」。

ママ達がキレイでいることをほめられると嬉しい相手を聞いたところ、全体では「子ども」「夫」「ママ友」の順番でした。

「夫にほめられると嬉しい」という回答は、20代ママ79.6%、30代ママ73.4%、40代ママ61.8%と、年を重ねるごとに低下します。「ママ友」も、年齢が上がるほど低下傾向にあります。が、「夫」の方が「ママ友」よりも低下の幅が大きく、20代・30代では「ママ友」よりも「夫」にほめられる方が嬉しいと回答した人が多かったのに対し、40代に入ると逆転する結果となりました。

*キレイでいることを「夫」「子ども」「ママ友」それぞれにほめられると嬉しいか？という問いに「あてはまる」「ややあてはまる」と回答した人

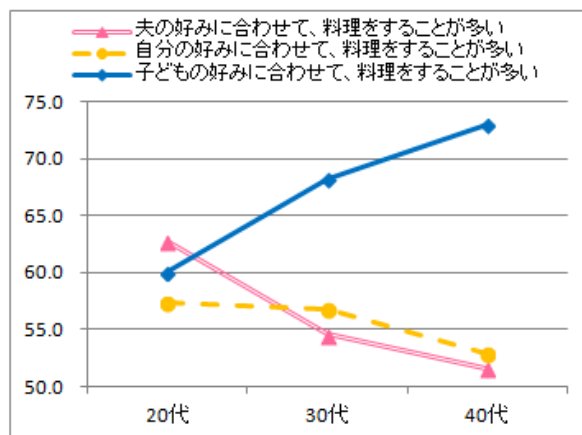


■家族の食卓、「パパ」よりも、「子ども」の好みに合わせて料理。

料理への考え方についてきたところ、「子どもの好みに合わせて料理をすることが多い」が67.4%、「自分の好みに合わせて料理をすることが多い」56.3%、「夫の好みに合わせて料理をすることが多い」55.7%という結果に。全体的に「夫」よりも「子ども」の好みを重視する傾向がわかりました。

世代別にこの結果を見てみると、20代では「子ども」よりも「夫」の好みに合わせて料理することが多いという回答が2.6ポイント高い結果になり、唯一「夫」が「子ども」を上回りました。30代、40代と、年齢が上がるにつれて「子どもの好みに合わせて料理することが多い」という回答が増え、40代では「夫の好みに合わせて料理することが多い」51.6%、「子どもの好みに合わせて料理することが多い」72.9%と、21.3ポイントもの差がつかしました。

Q: 「夫」「自分」「子ども」の好みに合わせて料理をするか？という問いに「あてはまる」「ややあてはまる」と回答した人



	夫の好みに合わせて、料理をすることが多い	自分の好みに合わせて、料理をすることが多い	子どもの好みに合わせて、料理をすることが多い
全体	55.7	56.3	67.4
20代	62.7	57.3	60.1
30代	54.6	56.8	68.2
40代	51.6	52.9	72.9

■「夫」としてよりも「パパ」として評価する「働くママ」。「パパ」としてよりも「夫」として評価する「専業主婦ママ」
自分に対してよりも、配偶者に対しての評価が高いママたち。

ママ達に配偶者に点数をつけてもらったところ、「パパ」としての評価がフルタイムママ平均 66.7 点、パート・アルバイトママ平均 66.1 点、専業主婦ママ平均 67.9 点でした。また、「夫」としての評価は、フルタイムママ平均 62.2 点、パート・アルバイトママ平均 62.6 点、専業主婦ママ平均 68.1 点となりました。

フルタイムママとパート・アルバイトママは、配偶者を「夫」としてよりも「パパ」として高く評価している一方で、専業主婦ママは「夫」としての評価が「パパ」を上回る結果となりました。

「パパ」としての点数を高くつけたママにその理由を尋ねると、「子どもと遊んでくれる」「子どもの面倒をよく見る」という意見が多くあがりました。一方で低く点をつけた理由は、「子どもに関心がない」「家族より、趣味やテレビ、ゲーム等自分の事を優先する」という声が多く見られました。「パパ」としての評価は、子どもとの関わり方によって明暗が分かれるようです。

「夫」としての点数を高くつけた理由としては、「仕事を頑張っている」「私(妻)を気遣ってくれる」「よき理解者」等の回答が多く、家族や妻への接し方だけでなく、仕事への取り組み姿勢も見られていました。低くつけた理由では、「家事に協力しない」「会話が少ない」という回答が目立ちました。「夫」としての評価を得るには、「仕事」に「家事」に「会話」にと、積極的に取り組む事が求められるようです。

別の質問では、ママ達に「ママ」として「妻」としての自分を自己評価して点数をつけてもらいましたが、いずれも「パパ」や「夫」につけた点数より低い結果となりました。自分自身よりも、配偶者の事を評価する、日本の女性のつつましさの表れなのでしょうか。

【配偶者の点数】「パパ」として

	平均
フルタイム	66.7
パート・アルバイト	66.1
専業主婦	67.9

【配偶者の点数】「夫」として


	平均
フルタイム	62.2
パート・アルバイト	62.6
専業主婦	68.1

【自分の点数】「ママ」として

	平均
フルタイム	60.3
パート・アルバイト	61.9
専業主婦	62.3

【自分の点数】「妻」として

	平均
フルタイム	52.4
パート・アルバイト	53.7
専業主婦	55.2

こそだて家族研究所 

<博報堂 こそだて家族研究所とは>

晩産化・少子化、共働き世帯の増加、夫や祖父母の育児参加など、この10年で大きく変わってきた「子供のいる家族」について、研究・提案を行う専門組織。1996年より活動していたBaBUプロジェクトを発展改組し、2012年10月設立。「妊娠期から小学生の子どもを持つ家族」に関する専門知識を元に、調査、商品開発支援、広告などコミュニケーション支援、メディア開発、事業開発などを手掛ける。